

奥武島付近海域における流況調査報告

平成17年4月21, 22日の大潮の低潮(干潮)時に奥武島付近海域において、流況調査を実施した。観測方法は、測量船搭載の超音波流速計(ADCP)による流向流速の観測及びDGPSブイによる漂流観測である。

1. 観測海域

測点図に示すとおり

2. 使用した船舶又は航空機の種別又は名称

測量船「おきしお」及び搭載艇 業務用自動車 一台

3. ADCP 観測結果

ADCP 観測は、ブイを漂流した時間に合わせて、低潮前・後の2回観測をおこなった。結果を第1~4図に示す。また、平成7年に第十一管区で観測し算出した定数による潮流推算結果との比較を第8, 9図に示す。

4月21日は低潮前・後ともに全体的に南西方向へ流れており、最大で1knの流れであった。また、漂流観測海域付近では低潮前・後ともに沖合の流れから分枝した北東方への流れであった。

4月22日は、低潮前・後ともに21日とほぼ同様な流れであった。

4. 漂流観測結果

4月21日の低潮前・後の2回(約1時間)観測を行った。結果を第5, 6図に示す。観測中の風は南~南南西よりの風3~4m/sであった。

低潮前は、約0.1knの速さで北東方へと流れた。

低潮後は、約0.1knの速さで北方向へ流れた。

4月22日は、低潮前(約1時間)の観測を行った。結果を第7図に示す。低潮後の観測は荒天のため中止した。

観測中の風は北東よりの風5~7mであった。

低潮前は、約0.1knの速さで西方へと流れた。

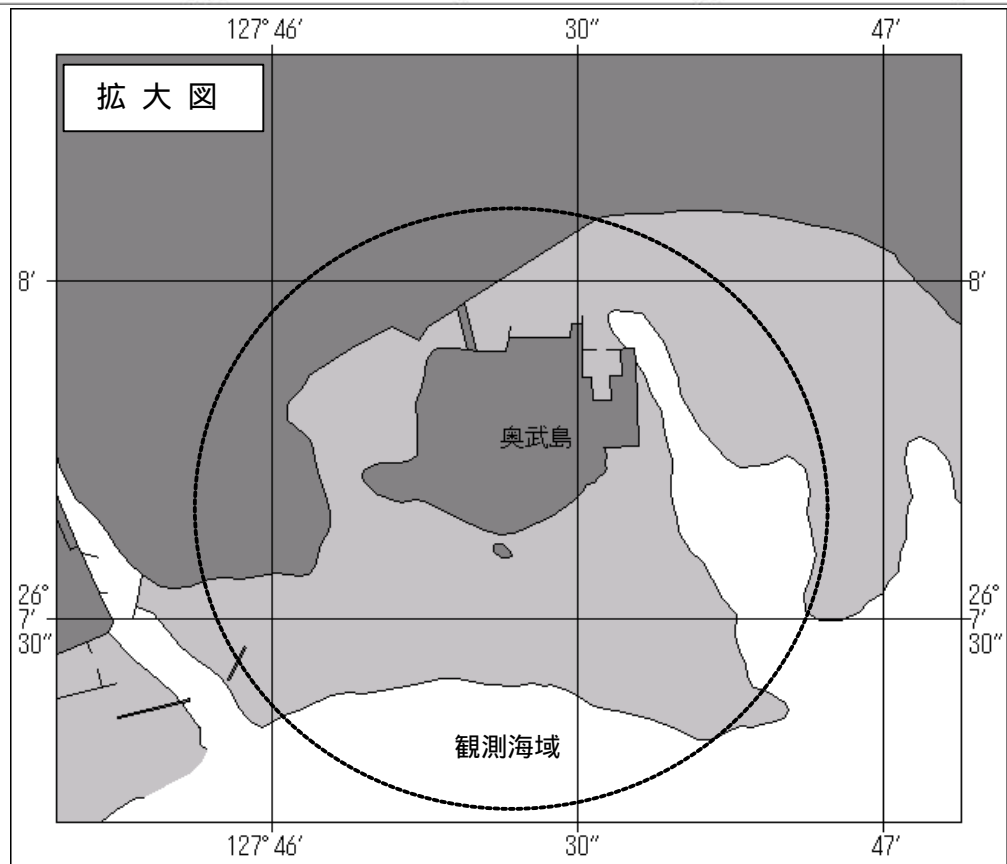
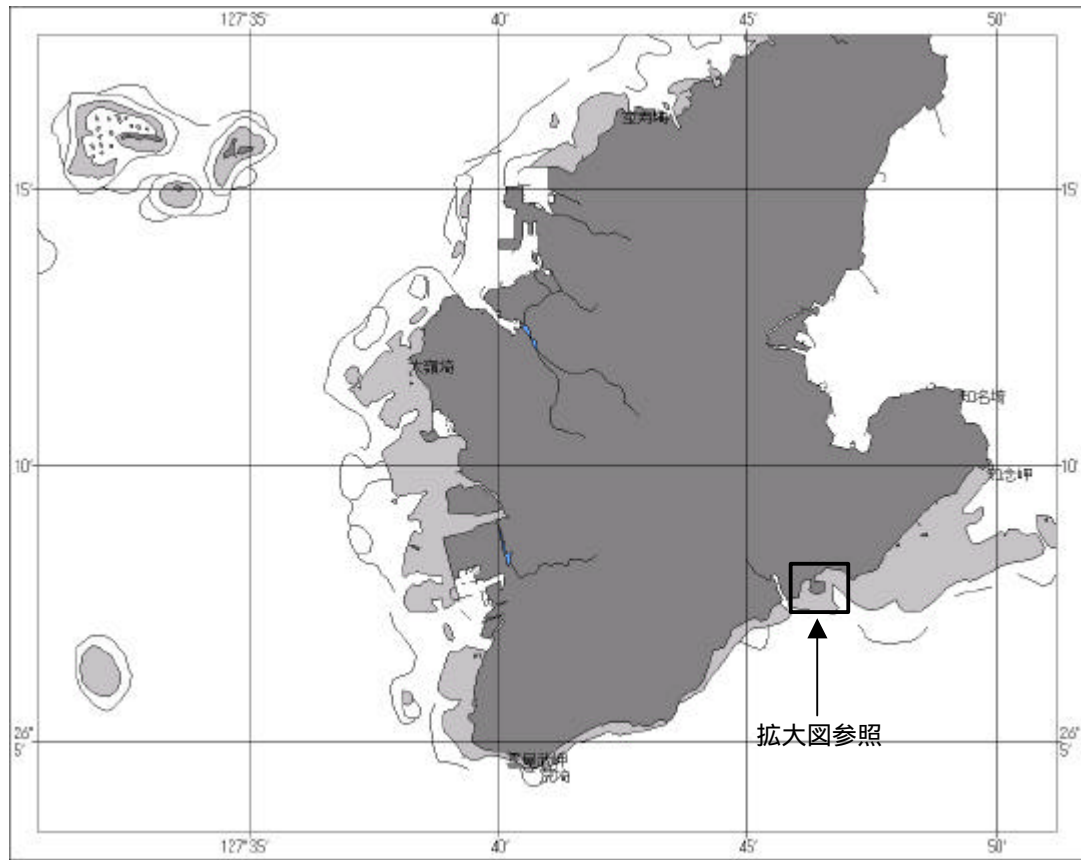
5. まとめ

今回の観測海域である奥武島付近海域は、海水浴、ダイビング及び潮干狩りなどの観光客や地元の人で賑わう場所である。

今観測では、幸いにも直接海浜事故に結びつくような強い流れは観測されなかった。同海域では21・22日ともにほぼ風下方向へ流れたが、これは本海域付近の潮流が弱いために風に起因する流れが発生したと推察される。

このような弱い流れの海域は、風やうねりによって流況が大きく変化することがあるので、マリレジャーの際には十分注意する必要がある。

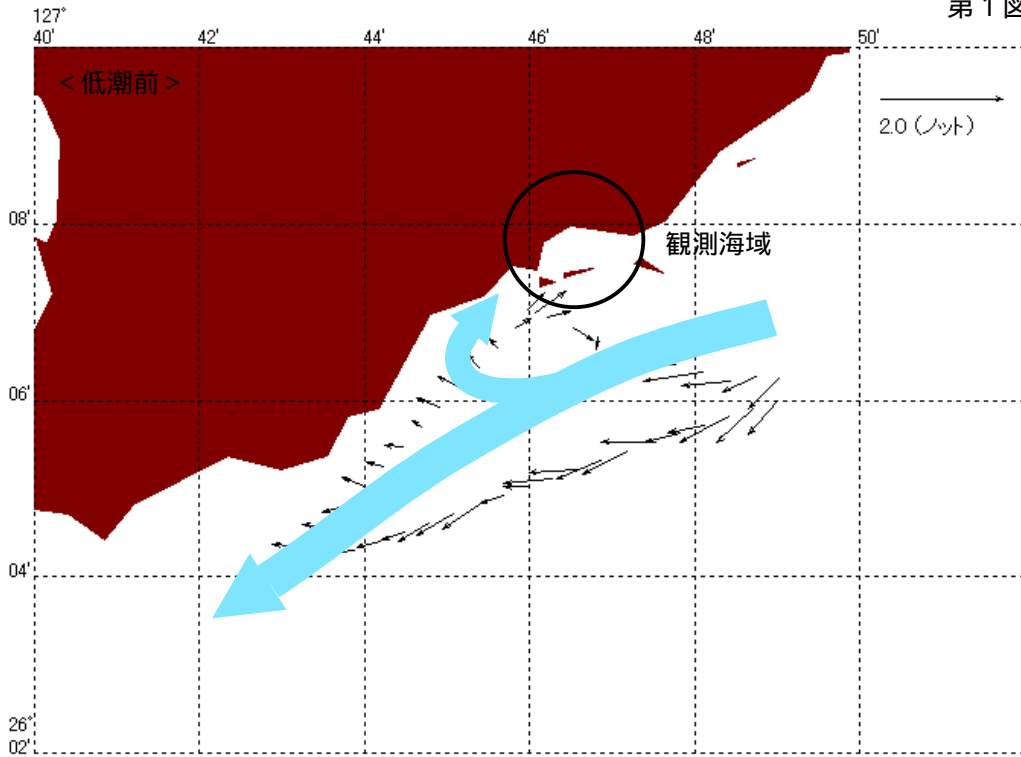
測点图



ADCP 観測結果 (4月21日観測)

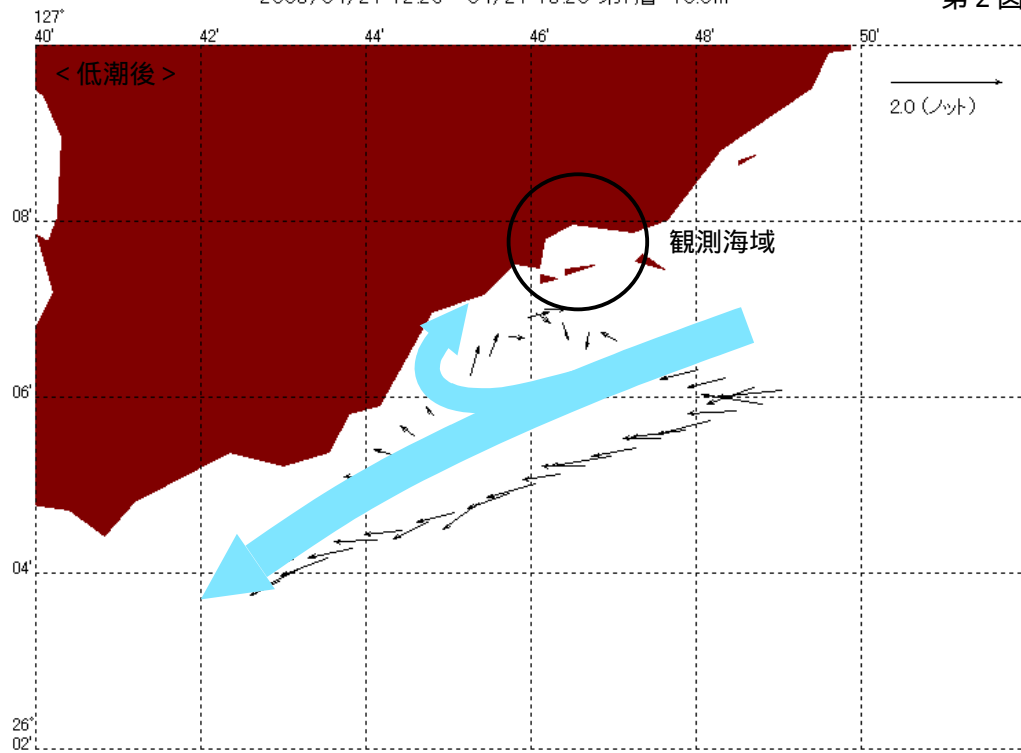
2005/04/21 10:13~04/21 11:29 第1層 10.0m

第1図

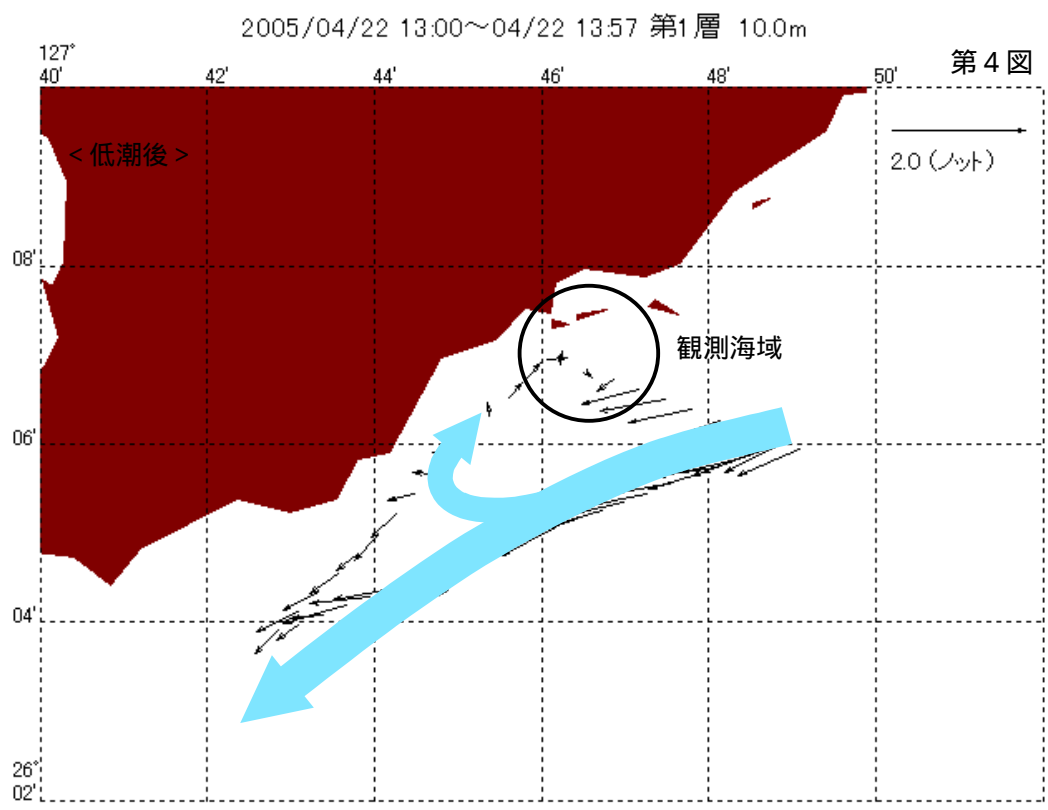
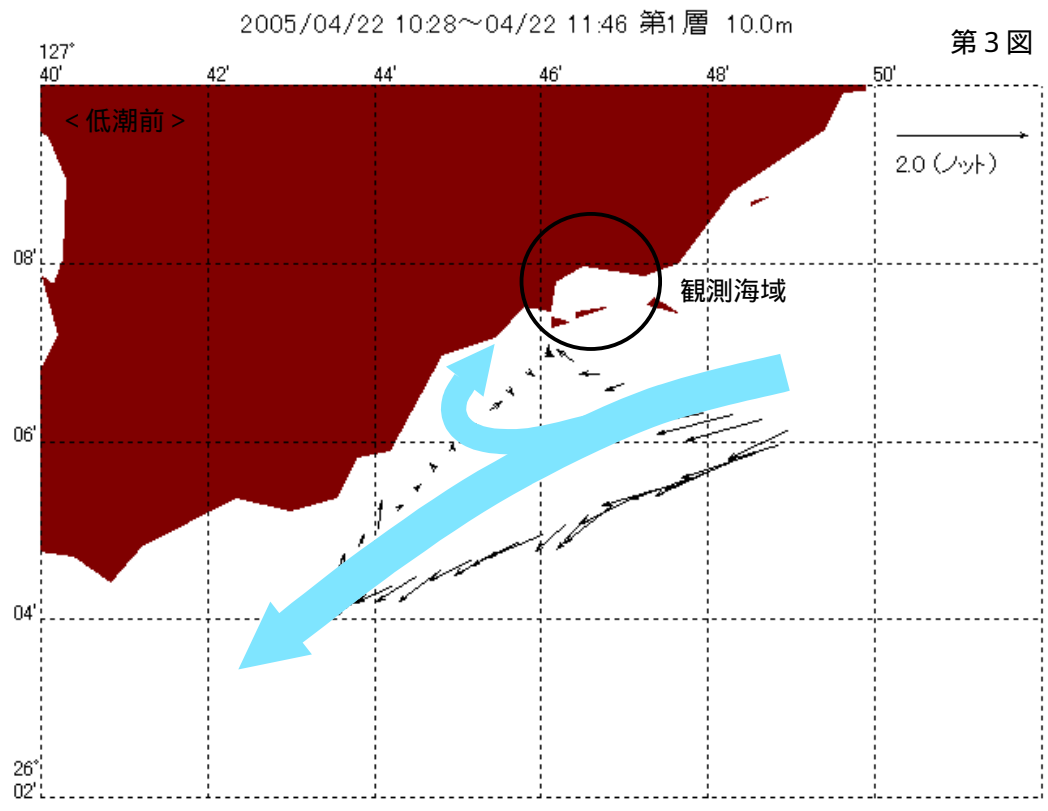


2005/04/21 12:26~04/21 13:20 第1層 10.0m

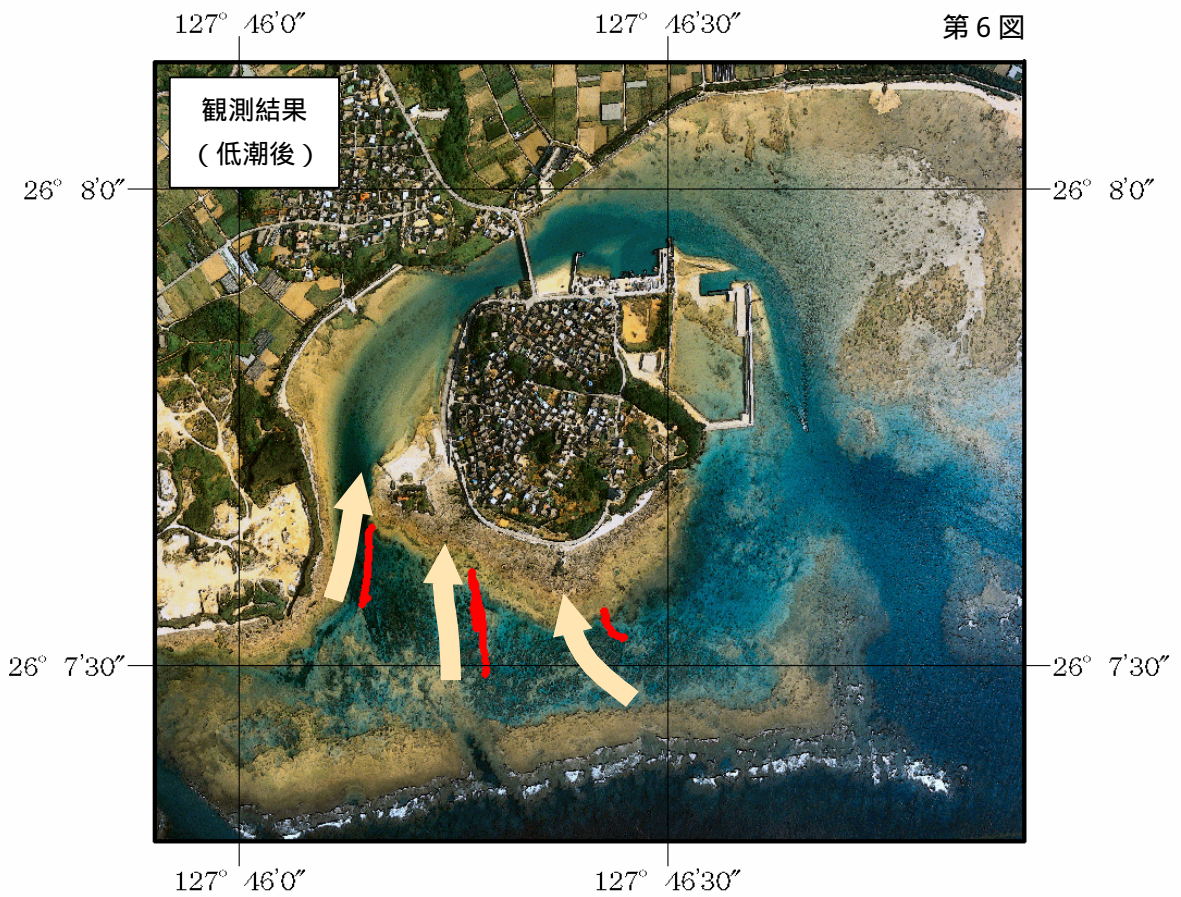
第2図



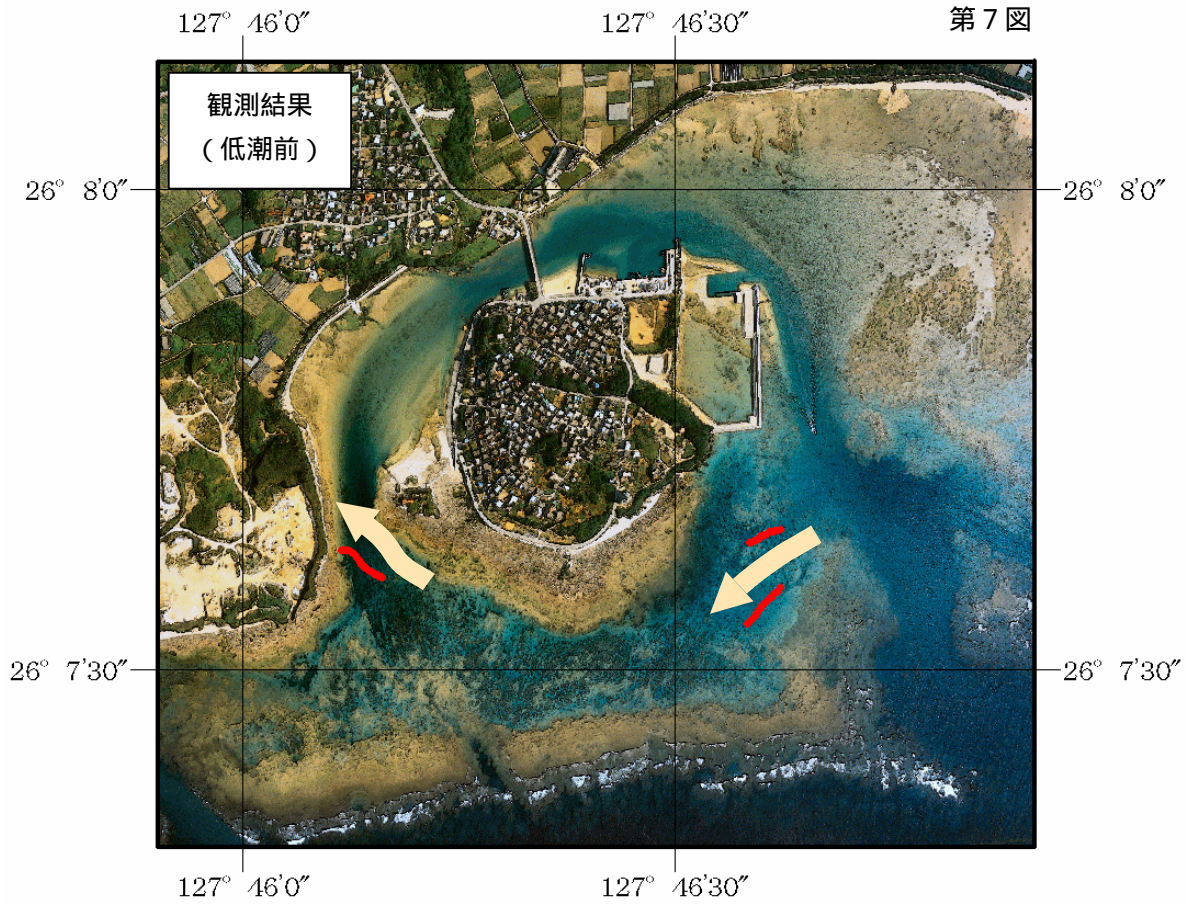
ADCP 観測結果 (4月22日観測)



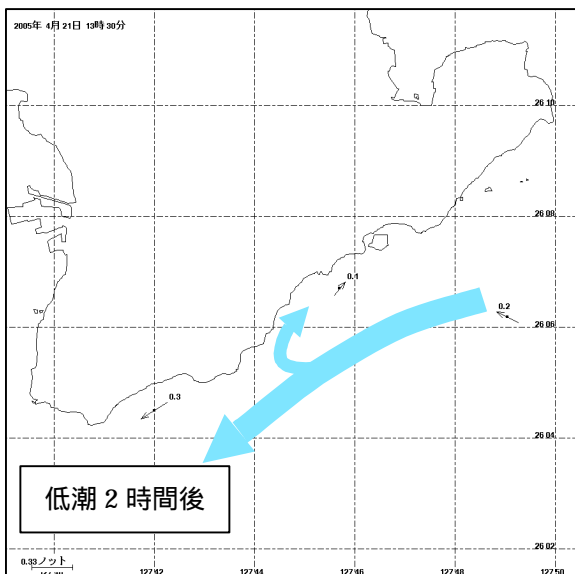
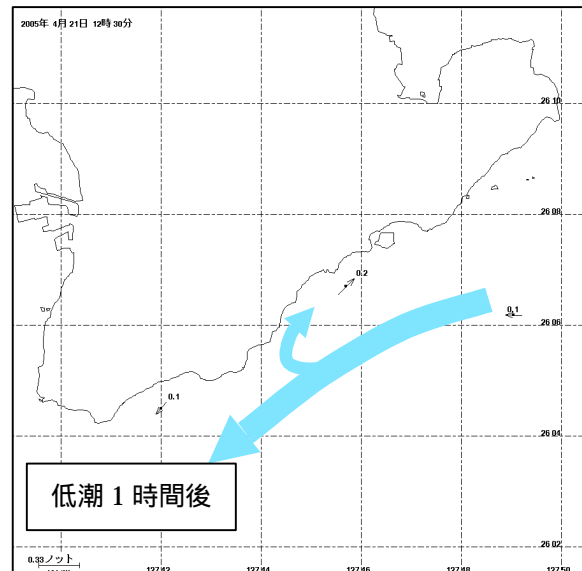
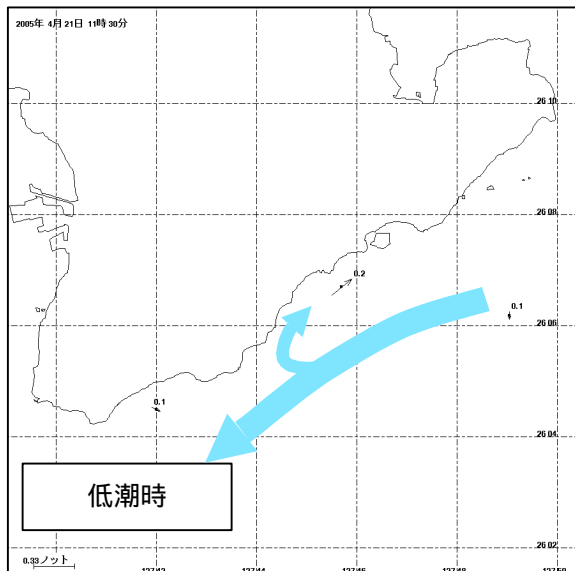
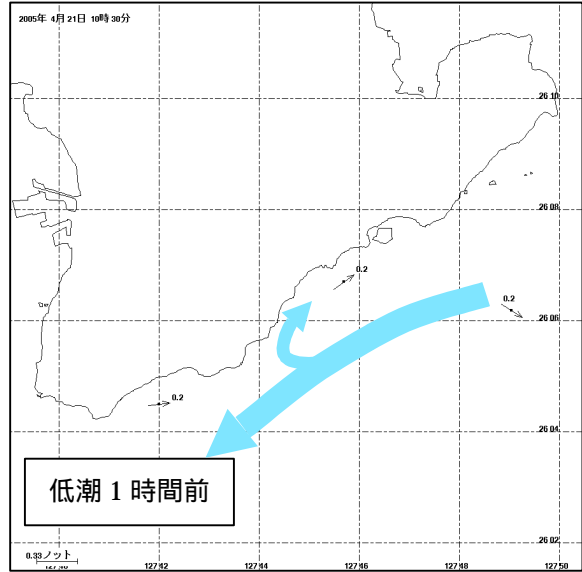
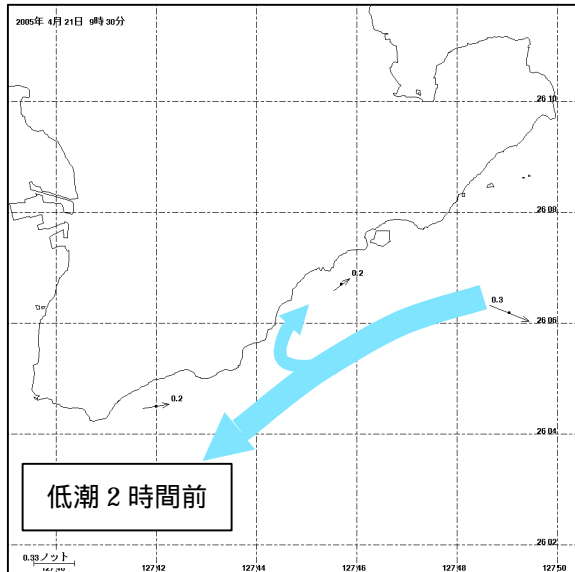
漂流観測結果 (4月21日観測)



漂流観測結果 (4月22日観測)



潮流推算結果 (4月21日観測)

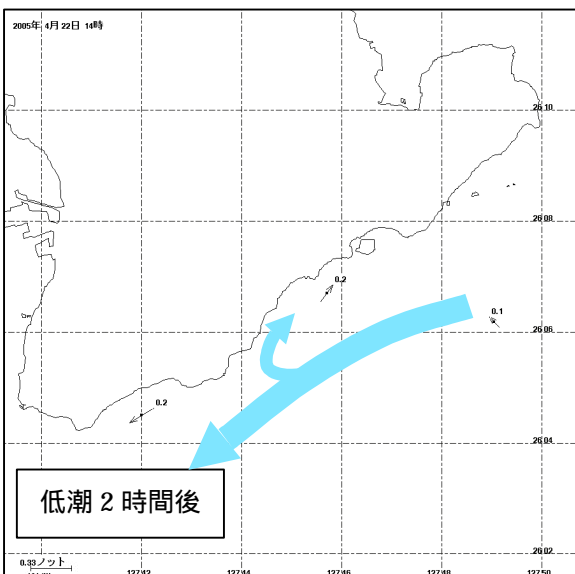
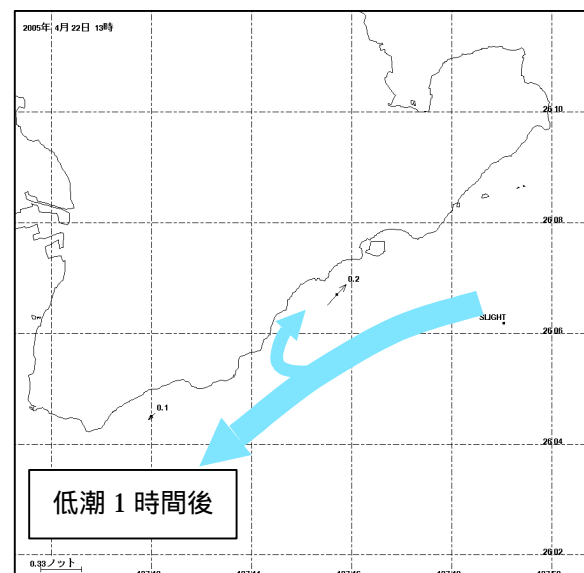
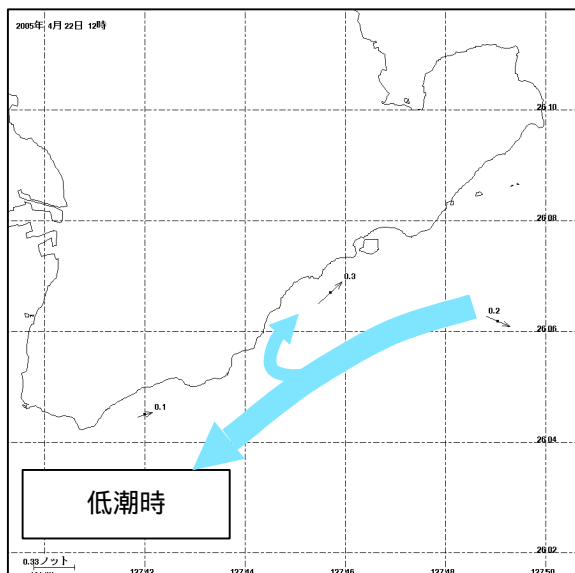
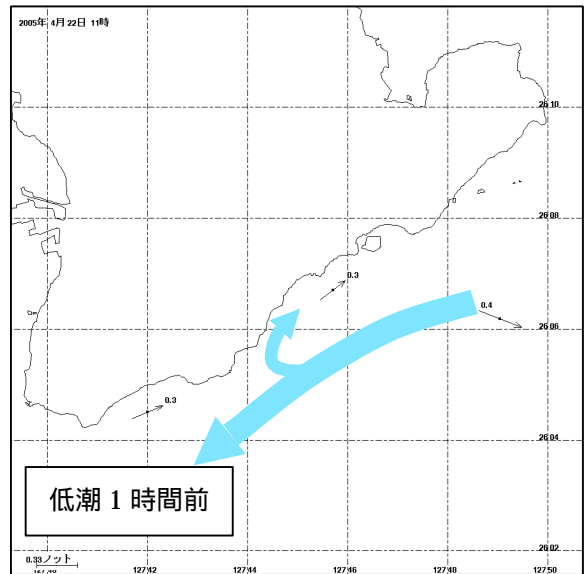
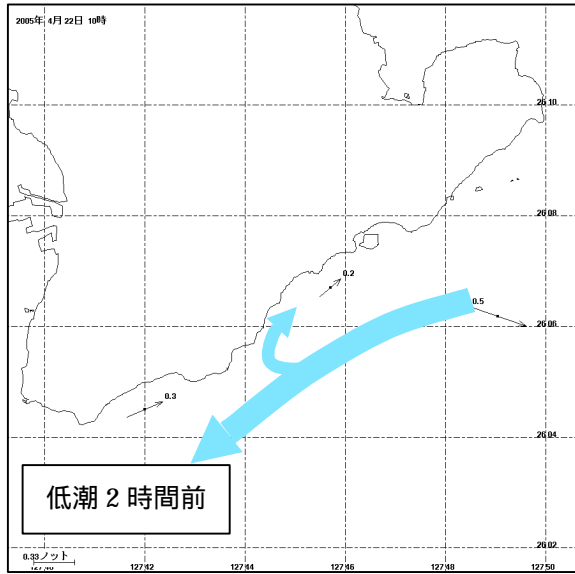


* 推算値

$k n \rightarrow$

* ADCP 観測値

潮流推算結果 (4月22日観測)



* 推算値

$k n$ →

* ADCP 観測値